

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2010年5月9日現在

概況 オレゴン州の2010年5月9日に終る1週間の気象は、全州にて2日以上の雨天の日を伴う低温気象であった。Willamette Valleyの最高気温は前週より多少高まり66~71度Fとなったが最低気温は32~47度Fであり、平均気温は平年を4~6度F下回った。カスケード山脈東部のNC地区の最高気温は65~75度Fであったが、最低気温は27~34度Fと低く、平均気温は平年を6~9度F下回った。1週間の降水量はValleyにて0.31~0.56インチ(Detroit Lakeでは2.23インチ) NC地区では0.05~0.75インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は4.7日(前週:3.9日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は前週より“Surplus”が増加し、“Adequate”が減少した。Willamette Valleyの冬小麦の圃場の一部は、土壌が軟弱となり農薬散布等の農作業が中断した。NC地区のUnion郡では2晩に亘り氷点下となり、降雪を伴った。各地の気象が強風を伴うcold/wetと報告された。冬小麦の生育は遅れ勝ちであったが、冬小麦の1%(去年同期:4%、5年平均:5%)が出穂した。冬小麦の作柄は“Excellent”の評価が前週より増えた。春小麦は96%にて播種が完了し、86%にて出芽した。出芽は昨年並びに5年平均より早めであった。

土壌水分(*)

(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	1	6	76	17
Last week	0	5	68	27
Subsoil	1	14	70	15
Last week	1	14	65	20

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	1	NA	4	5

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	4	31	49	16
Last week	0	4	35	50	11

春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Planted	96	94	97	96
Emerged	86	76	78	78

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2005,2006,2007,2008 and 2009 crop years

以上